

令和2年度学校自己評価システムシート (東京農業大学第三高等学校・同附属中学校)

目指す学校像
1 主体性を重視する教育活動を展開する。
2 部活動の強化により、学校に活力を与える。
3 生活指導を徹底していく中で、地域社会・国際社会から信頼される人材を育成する。
4 私学としての特性を生かし、学校改革を進める。
5 志願者を増加させ、定員の確保をめざす。
6 財政の健全化を目指すなかで、生徒への教育サービスを向上させる。
7 授業力のさらなる向上を目指す。

重点目標
1. 外部研修・生徒による授業評価・研究授業を通して、授業力の向上を図っていく。
2. 学年・教科・コース・クラブ活動・学校行事等の連携を強め、すべての教育活動で主体性を重視していく。
3. 将来の社会変化に対応できる人材育成を目指し、民間企業等と連携しながら特色ある教育内容を構築する。
4. 志願者を増加させ、定員の確保を目指す。

達成度
A ほぼ達成(8割以上)
B 概ね達成(6割以上)
C 変化の兆し(4割以上)
D 不十分(4割未満)

学校評価委員会構成
出席者 学校関係者評価委員 7名
外部評価委員 3名
事務局(教職員) 4名

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校評価委員会は感染症対策のため、学校評価委員10名へのアンケート形式で実施。

Table with 8 columns: 年度, 現状と課題, 評価項目, 具体的方策, 方策の評価指標, 評価項目の達成状況, 達成度, 次年度への課題と改善策. Contains 4 rows of evaluation data.

Table with 2 columns: 達成度, 理由・意見. Contains 4 rows of evaluation results corresponding to the main table.